

## 安全データシート (SDS)

作成日 : 2002年3月6日  
改訂日 : 2020年9月2日

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : 超速乾型ガラスクリーナー

供給者情報  
会社名 : エフイートレード株式会社  
住所 : 神奈川県藤沢市弥勒寺75-1  
TEL : 0466-50-2422  
FAX : 0466-50-2430  
担当部署 : 商品管理部

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類		
物理化学的危険性	引火性液体	区分3
健康に対する有害性	急性毒性（経口） 急性毒性（経皮） 急性毒性（吸入・蒸気） 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷性/刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器（単回ばく露） 特定標的臓器（反復ばく露） 吸引性呼吸器有害性	区分2B          区分2 区分1/区分3 区分1/区分2
環境に対する有害性	水性環境有害性（急性） 水生環境有害性（長期間） オゾン層への有害性	

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない

#### GHSラベル要素

絵表示 : 

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 引火性液体および蒸気  
眼刺激  
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い  
臓器<中枢神経系、全身毒性>の障害  
呼吸器への刺激のおそれ  
長期にわたる、または反復暴露により臓器<血液系>の障害  
長期にわたる、または反復暴露により臓器<呼吸器、肝臓、脾臓>の障害のおそれ

## 注意書き

## 〔安全対策〕

：熱／火花／裸火／高温のものから遠ざけること—禁煙  
 容器を密閉しておくこと  
 容器を接地すること／アースをとること  
 防爆型の電気機器／換気装置／照明装置を使用すること  
 火花を発生させない工具を使用すること  
 静電気放電に対する予防措置を講ずること  
 保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること  
 使用前に取扱説明書を入手すること  
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと  
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと  
 取り扱い後は手をよく洗うこと  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと  
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること  
 指定された個人用保護具を使用すること

## 〔応急措置〕

：皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと  
 皮膚を流水／シャワーで洗うこと  
 火災の場合：消火に適切な消火剤を使用すること  
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと  
 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと、その後も洗浄を続けること  
 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること  
 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること  
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること  
 気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること

## 〔保管〕

：施設して保管すること  
 容器を密閉して換気の良いところで保管すること  
 換気の良い場所で保管すること  
 涼しいところに置くこと

## 〔廃棄〕

：内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

## 組成及び含有量

化学名又は一般名	含有量 (%)	化管法(1)	化審法(2)	安衛法(3)	CAS番号
イソプロピルアルコール	56	—	(2)-207	494	67-63-0
シリコンオイル	1.0未満	—	非公開	—	非公開
香料	微量	—	非公開	—	非公開
水	残量	—	—	—	7732-18-5

(1) 化学物質排出把握管理促進法 官報公示整理番号（平成21年10月1施行）

(2) 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 官報公示整理番号

(3) 労働安全衛生法第57条施行令第18条第1号別表第9

（名称等を通知すべき危険物及び有害物）政令番号（平成30年7月1日施行）

：該当しない

#### 4. 応急措置

吸入した場合	: 使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し、速やかに通気の良い場所で安静にすること 気分が回復しない場合は医師の診断を受けること
皮膚に付着した場合	: 直ちに清水でよく洗い落とすこと 異常がある場合は医師の診断を受けること
眼に入った場合	: 目を擦らず直ちに清浄な水で15分以上注意深く洗うこと コンタクトレンズを着用していて容易外せる場合は外して洗浄を続けること 目の刺激が続く場合は、医師の手当てを受けること
飲み込んだ場合	: 水で口の中を洗浄し、コップ1-2杯の水又は牛乳を飲ませ、無理に吐かせないで直ちに医師の診断を受けること 被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない

---

#### 5. 火災時の措置

消火剤	: 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水 初期火災には粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる 大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する
使ってはならない消火剤	: 冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない

---

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	: 漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する
環境に対する注意事項	: 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する 大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない
除去方法	: 少量の場合は、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る 大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する 漏出したものをすくいとり、または掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する 回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる有害でなければ、火気、換気等に十分注意して蒸発、拡散させる、または散水して蒸発を促進させてもよい
二次災害防止法	: 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する 火花を発生しない安全な用具を使用する

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策	: 取扱いは換気のよい場所で行うこと 発散した蒸気を吸い込まないようにすること 取扱いの都度、容器を密閉すること 眼、皮膚、衣類に付けないこと 保護手袋及び保護眼鏡を着用すること 取扱い後はよく手を洗うこと 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する 熱、火花、裸火、高温のものから遠ざけること—禁煙 静電気放雷に対する予防措置を講ずること 火気厳禁
局所排気・全体換気 注意事項	: 取扱う場合は、局所排気内または全体換気の設備のある場所 で取扱う みだりにエアロゾルが発生しないように取扱う
安全取扱い注意事項	: 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する 容器を転倒、落下させ、衝撃を与え、又は引きずる等の乱暴 な取扱いをしてはならない
保管 安全な保管条件	: 直射日光を避け、換気のよい場所で容器を密閉し保管する こと 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざける こと 施錠して保管すること 酸化剤並びに酸化性の強い物質との保管は避ける
容器包装材料	: 開栓した容器で再び保管する時は、密栓をよく確かめること 他の容器に移し替えて保管しないこと

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 200ppm【イソプロピルアルコール】
許容濃度 日本産業衛生学会	: 400ppm(上限値)(2013年度版)【イソプロピルアルコール】 980mg/m <sup>3</sup> 上限値)(2013年度版)【イソプロピルアルコール】
ACGIH	: TLV-TWA 200ppm(2013年度版)【イソプロピルアルコール】 TLV-STEL 400ppm(2013年度版)【イソプロピルアルコール】
設備対策	: 取り扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備 を設置する
保護具 呼吸器の保護具	: 防毒マスク(有機ガス用)を使用する
手の保護具	: 保護手袋を使用する
眼の保護具	: 保護眼鏡を使用する
皮膚及び身体の保護具	: 必要に応じて保護衣を使用する

---

## 9. 物理的及び化学的性質

外観	: 無色透明液体
臭い	: 芳香臭
pH(原液)	: 8.0(代表値)

融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	: データなし
引火点（セタ密閉式）	: データなし
自然発火温度	: データなし
燃焼性	: データなし
燃焼又は爆発範囲下限、上限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
蒸発速度	: データなし
比重 (25°C)	: 0.90（代表値）
溶解性	: 水と任意の割合で混合する
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし
粘度 (25°C)	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の条件では安定
危険有害反応可能性	: 強酸化剤との接触を避ける
避けるべき条件	: 現在のところ有用な情報なし
混触危険物質	: ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する
危険有害な分解生成物	: 現在のところ有用な情報なし

## 11. 有害性情報

急性毒性 経口	: イソプロピルアルコールはラットのLD50=4,384mg/kg (EPA Pesticides (1995))、4,396mg/kg (EHC 103(1990))、4,710mg/kg (EHC 103(1990)、PATTY(6th, 2012)、SIDS(2002))、5,000mg/kg (環境省リスク評価第6巻(2008))、5,045mg/kg (環境省リスク評価第6巻(2008))、5,280mg/kg (EHC 103(1990)、SIDS(2002))、5,300mg/kg (PATTY(6th, 2012))、5,480mg/kg (EHC 103(1990)、PATTY(6th, 2012))、5,500mg/kg (EHC 103(1990)、SIDS(2002))、5,840 mg/kg (PATTY(6th, 2012)、SIDS)以上のデータより、本製品としての急性経口毒性推定値 (ATE)は5,000mg/kgを超えるため【分類できない】とした
経皮	: イソプロピルアルコールはウサギのLD50=12,870mg/kg (EHC 103(1990)、(PATTY(6th, 2012)、(SIDS(2002)))に基づき、【区分外】以上のデータより、本製品としての急性経皮毒性推定値 (ATE)は5,000mg/kgを超えるため【分類できない】とした
皮膚腐食性 /刺激性	: 情報なし
眼に対する重篤な 損傷性/眼刺激性	: イソプロピルアルコールは【区分2】に分類されており、含有率が【区分2】のカットオフ値 (10%) 以上のため、【区分2B】とした
呼吸器感受性 又は皮膚感受性	: 情報なし
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発がん性	: 情報なし
生殖毒性	: イソプロピルアルコールは【区分2】に分類されており、含有率が【区分2】のカットオフ値 (3.0%) 以上のため、【区分2】とした
特定標的臓器毒性	: イソプロピルアルコールは【区分1】 (中枢神経系、全身毒性)、

(単回ばく露)	【区分3】(気道刺激性)に分類されており、含有率が20%以上のため、 【区分1】(中性神経系、全身毒性)、【区分3】(気道刺激性)とした
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: イソプロピルアルコールは【区分1】(血液系)、【区分2】(呼吸器、 肝臓、脾臓)に分類されており、含有率が10%以上のため、【区分1】 (血液系)、【区分2】(呼吸器、肝臓、脾臓)とした
吸引性呼吸器 有害性	: 情報なし

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性(急性)	: 情報なし
水生環境有害性(長期間)	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 情報なし
他の有害影響	: 情報なし

---

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物  
内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること

汚染容器及び包装  
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること

---

## 14. 輸送上の注意

国際規制	
国連分類	: クラス3:引火性液体
国連番号	: UN1993
品名(国連輸送名)	: その他の引火性液体(他の危険性を有しないもの)
容器等級	: III
国内規制	
陸上輸送	: 労働安全衛生法に定められた輸送方法に従う
海上輸送	: 船舶安全法に定められた輸送方法に従う
航空輸送	: 航空法に定められた輸送方法に従う
輸送の特定の 安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を 確実にを行う
緊急時応急措置指針番号	: 127

---

## 15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (平成21年10月1日改正)	: 非該当
---------------------------------	-------

労働安全衛生法	
危険物	: 施行令別表第1危険物（引火性の物）
有機溶剤中毒予防規則	: 施行令別表第6の2有機溶剤（第2種有機溶剤）
名称等を表示すべき危険物及び有害物（平成30年7月1日施行）	: イソプロピルアルコール
名称等を通知すべき危険物及び有害物（平成30年7月1日施行）	: 政令番号494【イソプロピルアルコール】
毒物及び劇物取締法 （令和2年7月1日施行）	: 非該当
消防法	: 非該当

---

## 16. その他の情報

### 参考文献

原料メーカーSDS  
独立行政法人 製品評価技術基盤機構「化学物質総合情報提供システム」データベース (CHRIP)  
厚生労働省 職場のあんぜんサイト「GHS対応モデルSDS」

この安全データシートは、現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成しておりますが、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は含まれておりません。

取扱いの際にはこのデータシートを参考として適用法令に従い、自らの責任において使用条件、使用目的を考慮の上、適切な取扱いが必要であることを認識頂き活用されるようお願い致します。